



Akita Prefectural University

秋田県立大学



秋田県新報

共同生涯学習プログラム

県立大「いつでも青春キャンパス®」



シニア大学生

Vol.22

キャンパスライフ紹介!

作付け密度とエダマメ収量

渡邊さん 関係性を研究 (11月16日)

シニア大学生の渡邊清さん(72)は、生物生産科学科の櫻井健二教授(園芸育種学)の指導の下、作付け密度によるエダマメの収量の違いについて調べています。植える間隔は25センチごとと、50センチごとの2パターンを設定。1カ所あたり1株から最大3株までの苗を7月に植え、秋に収穫。作付け密度の条件ごとに子実の数量の違いを分析します。「3株まとめて植えると収量がぐっと減る感じがする。趣味で畑をやっているので、研究で得



た知識をいかしたい」と笑顔で話しました。

◀ 作付け密度の条件ごとに並べたエダマメの株を手にする渡邊さん

「青春キャンパス®」は選考を経た65歳以上の県民が1年間勉強や研究に取り組める新プログラムです。

特別協賛

INEX

JAWA Japan area welfare association

協賛

CNA